

トピックス ①

英語論文報告

～手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた
前立腺癌手術における工夫について～

泌尿器科部長 黒川 寛史

イギリスBioMed Central社の発刊する雑誌「BMC Urology」に、当院で行っているダヴィンチ手術の工夫が掲載されました。

BioMed Central社は、世界で最初に設立されたオープンアクセス専門の出版社であり、250以上の生物医学研究雑誌を刊行しています。オープンアクセスというのは、質の良い学術論文を学問の発展のために無料で閲覧可能にすること、を指します。

今回、私たちの「ダヴィンチ手術の工夫」に関する英語論文が掲載された理由は、主に2つあると考えています。

1つめは、手術の工夫にオリジナリティーがあったことです。世界中でまだ誰も報告していないような工夫を複数行ったことが評価されたのだと思います。

2つめは、私たちの行った工夫とその結果をきちんと評価・解析したことです。論文のタイ

トルにもありますが「propensity-score(傾向スコア)」のぴったり合った患者さん同士で、手術結果を解析しました。傾向スコアを合わせたというのは、比べたい患者さん同士の年齢・性別・体格・血液検査データ・前立腺がんの悪性度とステージ・手術の既往・経過観察の期間、のすべてのデータをマッチさせた、ということです。マッチさせることにより、結果を正当に評価することができました。

結局、私たちの工夫により、従来の一般的なダヴィンチ手術よりもメリットがあることを証明できました。

しかし残念ながら、まだ患者さん全員によい結果を提供できるところまでは達していません。すべての患者さんに満足していただけの治療法を目指して、今後も努力してまいります。

